3 課題解決のための方法

この幼児知育支援システムによる、課題解決方法について説明する。

* 利用者のスマートフォンの現在地情報を利用した親同士の交流支援

幼児知育における不安や疑問をシステム利用者間で質問・相談することができる場を提供する。さらに利用者の現在地情報を使用することで、その地域に特化した具体的な意見等を共有することができる。

* 親子のコミュニケーションを図るための知育ゲーム

　利用者の端末に幼児向けの知育ゲームを導入することで、親子交流及び知育を行う場を提供する。開発側が幼児向けの知育をサポートすることで、共働きなどで自分の空き時間が少ない親の育児負担を軽減させることにも有効であると考えられる。一方で、親が知育ゲームばかりをさせてしまわないように、これらのコンテンツの利用に対してある程度の時間的制限をかける。

9開発体制と工程計画

本システムは、弊社7名のプログラマにより実施する。

また、システム工程計画は以下の通りである。

|  |  |
| --- | --- |
| **工程** | **完了予定日程** |
| 仕様凍結 | 2018年10月25日 |
| 外部設計完了 | 2018年11月22日 |
| 内部設計完了 | 2018年12月13日 |
| 開発・動作試験 | 2019年1月17日 |
| 納品 | 2019年1月24日 |